



航空灯火用接着剤

SHO-BOND

メジコーク E-Series

MEJICAULK E-Series



航空灯火・電気施設工事共通仕様書に適合

メジコーク E3

灯器類の接着剤(樹脂系)

メジコーク E1(充てん用)

配線溝充てん材(充てん用)

メジコーク E1(表面仕上用)

配線溝充てん材(表面仕上用)



◀メジコークE3  
メジコークE1(充てん用)  
1kgセット

▲メジコークE3 5kgセット  
メジコークE1(充てん用) 10kgセット



ショーボンドマテリアル株式会社

## 特長

- 硬化が早く、早期解放が可能です。
- コンクリートやアスファルトと金属との接着性に優れ、航空灯火埋込標識灯の設置に適しています。

## 使用方法

- ① 主剤と硬化剤を使用時に混合・攪拌します。
- ② 主剤と硬化剤の配合は、7:3の重量比割合です。  
少量使用する場合は、必ず秤で計量してください。
- ③ 主剤と硬化剤が完全に混合するよう、電動攪拌機を用いて均一になるまで攪拌してください。攪拌時は極力気泡が入らないよう、低速で行ってください。
- ④ 混合中から硬化が始まっています。混合後は、可使時間内に素早く目地に流し込んでください。
- ⑤ 器具等に付着した樹脂は、硬化前に十分除去してください。

## 施工方法

- ① **清掃・表面処理**  
十分な接着効果を得るため、施工前に接着面の汚れを除去してください。打設部位に滞水・水分付着がある場合、ウエス等で拭き取り、十分乾燥させてください。
- ② **攪拌・混合**  
使用方法に従って、主剤・硬化剤を攪拌・混合します。
- ③ **流し込み作業**  
混合した後、目地に流し込んで充てんします。粘性が上がり、ダマや糸引きが発生したものは、可使時間を過ぎていきますので、使用しないでください。
- ④ **養生**  
完全に硬化するまで養生してください。

## 外観性状

主 剤：白色 / 粘稠液状  
硬化剤：淡黄色透明～赤褐色 / 液状  
混合物：淡黄色 / 粘稠液状  
主剤は成分が沈降している場合があるので、よく混ぜてから使用してください

### ■ 可使時間の目安

タイプ	Wタイプ			Sタイプ		
気温(°C)	5	15	23	15	23	35
可使時間(分)	20	10	5	35	16	6

### ■ 荷姿

	主剤	硬化剤
1kgセット	0.7kg	0.3kg
5kgセット	3.5kg	1.5kg



## 代表値

項目	試験方法	試験条件 <sup>※1</sup>	単位	規格値 <sup>※2</sup>	Wタイプ	Sタイプ
比重	JIS K 7112	7日	—	1.02~1.40	1.25	1.23
粘度	JIS K 6833-1, -2	硬化前混合物	mPa·s	5000以下	4440	560
可使時間	温度上昇法	100g以上	分	15以上	20	21
引張せん断 接着強さ	JIS K 6850	7日	MPa	8以上	20.7	21.6
		24時間		2以上	7.8	25.2
引張強さ	JIS K 7161	7日	MPa	20以上	43.2	38.2
曲げ強さ	JIS K 7171	7日	MPa	30以上	44.2	62.5
圧縮強さ	JIS K 7181	7日	MPa	40以上	59.7	125.9
硬度	JIS K 7215	7日	HDD	80以上	83	88

※1 Wタイプ：5°C、Sタイプ：23°C ※2 航空灯火・電気施設工事共通仕様書の規定値

# メジコーク E1 (充てん用)

2液型エポキシ樹脂系充てん材

航空灯火・電気施設工事共通仕様書  
「配線溝充てん材(充てん用)」に適合

## 特長

- 揺変性があり、勾配部の流し込みに適しています。
- 優れた伸び性能を有し、目地部の伸縮に追従します。

## 使用方法

- ① 主剤と硬化剤を使用時に混合・攪拌します。
  - ② 主剤と硬化剤の配合は、**S/Wタイプで異なる重量比割合**です。少量使用時は、必ず秤で計量してください。
  - ③ 主剤と硬化剤が完全に混合するよう、電動攪拌機を用いて均一になるまで攪拌してください。攪拌時は極力気泡が入らないよう、低速で行ってください。
  - ④ 混合中から硬化が始まっています。混合後は、可使用時間内に素早く目地に流し込んでください。
  - ⑤ 器具等に付着した樹脂は、硬化前に十分除去してください。
- ※2時間程度で指触乾燥を求める場合は、あらかじめ主剤を加温して使用してください。詳細は別途、技術資料をご確認ください。

## 施工方法

- ① **清掃・表面処理**  
充分な接着効果を得るため、施工前に接着面の汚れを除去してください。打設部位に滞水・水分付着がある場合、ウエス等で拭き取り、十分乾燥させてください。
- ② **攪拌・混合**  
使用方法に従って、主剤・硬化剤を攪拌・混合します。
- ③ **流し込み作業**  
混合した後、目地に流し込んで充てんします。粘性が上がり、ダマや糸引きが発生したものは、可使用時間を過ぎていきますので、使用しないでください。
- ④ **養生**  
完全に硬化するまで養生してください。

## 外観性状

主 剤：褐色 / 粘稠液状  
硬化剤：黄色～褐色 / 粘稠液状  
混合物：褐色 / 粘稠液状

### ■ 可使用時間の目安

タイプ	Wタイプ			Sタイプ		
配合比	主剤:硬化剤=7:3			主剤:硬化剤=3:1		
気温(°C)	5	10	20	15	23	35
可使用時間(分)	35	20	9	55	40	10

### ■ 荷姿

	Wタイプ		Sタイプ	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
1kgセット	0.7kg	0.3kg	0.75kg	0.25kg
10kgセット	7.0kg	3.0kg	7.5kg	2.5kg



## 代表値

項目	試験方法	試験条件 <sup>※1</sup>	単位	規格値 <sup>※2</sup>	Wタイプ	Sタイプ
比重	JIS K 7112	7日	—	1.02~1.60	1.13	1.11
粘度	JIS K 6833-1, -2	W:5°C/S:23°C	mPa·s	10000以下	8800	2645
可使用時間	温度上昇法	100g以上	分	15以上	48	41
引張せん断 接着強さ	JIS K 6850	7日	MPa	4以上	25.3	15.6
		24時間		1以上	5.3	3.9
引張強さ	JIS K 7161	7日	MPa	2以上	19.5	9.9
圧縮強さ	JIS K 7181	7日	MPa	2以上	24.3	17.2
伸び	JIS K 7161	7日	%	30以上	72.2	54.2
硬度	JIS K 7215	7日	HDD	30以上	59	40

※1 Wタイプ:5°C、Sタイプ:23°C ※2 航空灯火・電気施設工事共通仕様書の規定値

# メジコーク E1 (表面仕上用)

2液型エポキシ樹脂系充てん材

## 航空灯火・電気施設工事共通仕様書 「配線溝充てん材(表面仕上用)」に適合



### 特長

- 勾配部の充てんに適しています。
- 優れた伸び性能を有し、目地部の伸縮に追従します。

### 使用方法

- ① 主剤と硬化剤と粉体に分かれており、主剤・硬化剤の混合物に粉体を添加して混合・攪拌します。  
主剤と硬化剤の配合は、**S/Wタイプで異なる重量比割合**です。
  - ② 少量使用する場合は、必ず秤で計量してください。粉体の添加割合は樹脂混合物に対して重量比で17.5%です。
  - ③ 主剤と硬化剤とを電動攪拌機を用いて約1分攪拌した後、粉体を添加して均一になるまで攪拌してください。攪拌時は極力気泡が入らないよう、低速で行ってください。
  - ④ 混合中から硬化が始まっています。混合後は、可使用時間内に素早く目地に充てんしてください。
  - ⑤ 器具等に付着した樹脂は、硬化前に十分除去してください。
- ※2時間程度で指触乾燥を求める場合は、あらかじめ主剤を加温して使用してください。詳細は別途、技術資料をご確認ください。

### 施工方法

- ① 清掃・表面処理  
十分な接着効果を得るため、施工前に接着面の汚れを除去してください。打設部位に滞水・水分付着がある場合、ウエス等で拭取ってください。

### ② 攪拌・混合

使用方法に従って、主剤・硬化剤・粉体を攪拌・混合します。

### ③ 充てん作業

混合した後、目地に流し込んで充てんします。粘性が上がり、ダマや糸引きが発生したものは、可使用時間を過ぎていますので、使用しないでください。

### ④ 養生

完全に硬化するまで養生してください。

### 外観性状

主 剤：褐色 / 粘稠液状  
硬化剤：黄色～褐色 / 粘稠液状  
粉 体：白色 / 粉末状  
混合物：黄褐色～褐色 / ペースト状

### ■ 可使用時間の目安

タイプ	Wタイプ			Sタイプ		
樹脂配合比	主剤:硬化剤=7:3			主剤:硬化剤=3:1		
粉体添加割合	樹脂混合物に対して17.5% (重量比)					
気温(°C)	5	10	20	15	23	35
可使用時間(分)	35	18	9	50	20	9

### ■ 荷姿

	Wタイプ			Sタイプ		
	主剤	硬化剤	粉体	主剤	硬化剤	粉体
1kgセット	0.7kg	0.3kg	0.175kg	0.75kg	0.25kg	0.175kg
10kgセット	7.0kg	3.0kg	1.75kg	7.5kg	2.5kg	1.75kg

### 代表値

項目	試験方法	試験条件 <sup>※1</sup>	単位	規格値 <sup>※2</sup>	Wタイプ	Sタイプ
比重	JIS K 7112	7日	—	1.02~1.60	1.18	1.17
粘度	目視	W:5°C/S:23°C	mPa·s	ペースト状	ペースト状	ペースト状
可使用時間	温度上昇法	100g以上	分	15以上	44	31
引張せん断接着強さ	JIS K 6850	7日	MPa	4以上	25.6	16.7
		24時間		1以上	12.6	6.6
引張強さ	JIS K 7161	7日	MPa	2以上	19.3	10.8
圧縮強さ	JIS K 7181	7日	MPa	2以上	49.2	39.2
伸び	JIS K 7161	7日	%	30以上	44.9	37.7
硬度	JIS K 7215	7日	HDD	30以上	67	62

※1 Wタイプ:5°C、Sタイプ:23°C ※2 航空灯火・電気施設工事共通仕様書の規定値

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

#### ■ 製造元

**ショーボンドマテリアル株式会社**

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台 2-8-10 TEL. 049 (225) 5611 (代表)

#### ■ 販売元

**ショーボンド建設株式会社**

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7-8 TEL. 03 (6861) 8101 (代表)

#### ● 取扱店

《2026年3月版》